

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 12 月 13 日 (2007.12.13)

【公開番号】特開 2007-203104 (P2007-203104A)
 【公開日】平成 19 年 8 月 16 日 (2007.8.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-031
 【出願番号】特願 2007-128353 (P2007-128353)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 5 3

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 31 日 (2007.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の遊技機を備えた遊技島において、各遊技機にそれぞれ対応して設けられる遊技媒体計数装置であって、

遊技媒体を計数する計数ユニットと、

この計数ユニットへ遊技媒体を整列させて導く導入経路を構成する整列ユニットと、

投入された遊技媒体の流れ方向を変換して前記整列ユニットへ送り込む方向変換ユニットと、

を備え、

前記整列ユニットは、前記方向変換ユニットから送り込まれた遊技媒体を複数列に仕切って整列させつつ移動させる複数の仕切部材を有し、一部の仕切部材の少くとも上流端近傍における上縁が他の仕切部材の上縁より高く設定されている、ことを特徴とする遊技媒体計数装置。

【請求項 2】

前記方向変換ユニットは、垂直部と、この垂直部の下端から前記整列ユニットに向かって下り傾斜しておかれる底面部とを有し、

前記整列ユニットは、前記仕切部材の上流端における上縁が、前記方向変換ユニットの底面部の末端のレベルに一致するように設けられている、請求項 1 記載の遊技媒体計数装置。

【請求項 3】

前記整列ユニットは、前記導入経路の幅方向において前記仕切部材の外側に位置する左右一対の側壁をさらに有し、各側壁の上流域における上縁が水平になっている、請求項 1 又は 2 記載の遊技媒体計数装置。

【請求項 4】

前記整列ユニットは、遊技媒体が集中する箇所の仕切部材の上縁が他の仕切部材の上縁より高く設定されている、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の遊技媒体計数装置。

【請求項 5】

前記整列ユニットは、前記導入経路の幅方向中央部近傍に位置する仕切部材の上縁が幅方向端部近傍に位置する仕切部材の上縁より高く設定されている、請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の遊技媒体計数装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、供給されるパチンコ玉等の遊技媒体の流れを分散させ、一部の流路での渋滞や詰りの発生をなくし、処理時間の短縮と流路の局所的な損耗の防止を図ることのできる、特に遊技島の複数の遊技機にそれぞれ対応して設けられる遊技媒体計数装置を提供することを課題とするものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題の解決手段として本発明は、複数の遊技機を備えた遊技島において、各遊技機にそれぞれ対応して設けられる遊技媒体計数装置であって、遊技媒体を計数する計数ユニットと、この計数ユニットへ遊技媒体を整列させて導く導入経路を構成する整列ユニットと、投入された遊技媒体の流れ方向を変換して前記整列ユニットへ送り込む方向変換ユニットとを備え、前記整列ユニットは、前記方向変換ユニットから送り込まれた遊技媒体を複数列に仕切って整列させつつ移動させる複数の仕切部材を有し、一部の仕切部材の少くとも上流端近傍における上縁が他の仕切部材の上縁より高く設定されていることを特徴とする。

前記方向変換ユニットは、垂直部と、この垂直部の下端から前記整列ユニットに向かって下り傾斜しておかれる底面部とを有し、前記整列ユニットは、前記仕切部材の上流端における上縁が、前記方向変換ユニットの底面部の末端のレベルに一致するように設けられていることが好ましい。

前記整列ユニットは、前記導入経路の幅方向において前記仕切部材の外側に位置する左右一对の側壁をさらに有し、各側壁の上流域における上縁が水平になっていることが好ましい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

前記側壁 47, 47 の上端縁は図 12、図 13 にみられるように上流域が水平に、下流域が後傾とされ、また通路板 50, 50 ... の上端縁はその入口端が前記方向変換ユニット 41 の底面部 41b の末端のレベルに一致し、出口端が計数ユニット 43 の後述する計数通路 52 の始端のレベルに一致するように後方に向け下り傾斜に形成されている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

前記仕切板 51 の上端縁は、その入口端が前記方向変換ユニット 41 の底面部 41b の末端のレベルに一致し、そこから上り傾斜し、下流端近傍域は下り傾斜している。そして 4 枚の仕切板 51, 51 ... のうち幅方向中央寄りの 2 枚の仕切板 (51, 51) で示す

）は他の２枚の仕切板 ５１，５１に較べて上り傾斜域の勾配が急になっていて上端縁が高く形成されている。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００３８】

上記整流ユニット４６の下流位置には前記の計数ユニット４３が設置されている。この計数ユニット４３は、前後端が開放された角筒状の枠体内に仕切板 ５７ a と通路板 ５７ b とで複数（例えば５列）の計数通路が形成されたもので、各計数通路には光学式の発光部および受光部からなる計数センサＳ１が配設されており、前記整列ユニット４６によって整列されたパチンコ玉が計数通路を流れ、計数センサＳ１の検知ラインを遮切ることにより計数が行なわれる。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００９３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００９３】

１ 遊技機（パチンコ台）

２ 台間玉貸機

３ 玉補給通路

４ 玉回収通路

５ 計数装置

１０ 上皿

１６ 天板

１７ 投入孔

１８ 玉箱

２４ 排出孔

３０ 表示部

３２ 表示部

３３ カバー

３４，３７ シャッタ部材

３８ シャッタユニット

４０ 受板

４１ 方向変換ユニット

４１ a 垂直部

４１ b 底面部

４３，７６ 計数ユニット

４５ 導入経路（整列通路）

４６，７５ 整列ユニット

４９，７８ ユニット枠体

５０，７９ 通路板

５１，５１，８０，８０ 仕切板

５２，８１ 計数通路

５３ 蓋体

５７ a，８３ 仕切板

５７ b，８４ 通路板

Ｓ１ 計数センサ

【手續補正 8】

【補正対象項目名】図3

【補正の内容】

【 図 3 】

